

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 11月 27日

事業所名: 放課後等デイサービス
えーる事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4			十分なスペース確保はできている。	29					去年新築のため周知してもらっている。
	2 職員の適切な配置	2	2		職員の人員については勤務形態表やシフトで確認できる。	27	1		1		保護者に向けては玄関のところに勤務形態表を掲載している。新人職員においては研修を行っている最中。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4			・外庭に行くときは遠回りしないといけませんが、室内・トイレすべての箇所にすりがついておりバリアフリー化の配慮がされている。	25	2		2		保護者の方へ室内や室外の様子を把握できるよう機関紙等に盛り込んでいく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4			活動に合わせた十分な活動ができるよう設計されている。また床暖房等で生活空間において心地よい環境を確保している。	29					去年新築のため周知してもらっている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	2		新人研修が途中であるため今後研修や実践を通して確認していく。						繰り返し研修の中でPDCAサイクルを行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施										第三者評価において検討していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	1		研修を定期的に行っている。また今後定期的に講演の参加もしていく。						定期的に研修を行いテスト形式のものを去年には行っていたが今後も引き続き定着をはかるためにテスト形式の研修を行い、より支援に活かせるようにしたい。また1年に1回合宿を行っているが引き続き行う。
適切な 支援の 提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	2	2		アセスメントツールに基づき定期的に分析している。引き続き行う。	27	2				モニタリングや支援会議での保護者の意向を聞き、計画している。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4			計画に伴い、活動記録においても活動支援目標を児童別に記載し、確認を行い支援に臨んでいる。	28	1				モニタリングや支援会議での保護者の意向を聞き、計画している。また、支援の様子や短期目標等を職員とミーティングし、たとえば保護者と話し合い、計画につなげている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4			スケジュールにおいてクラブや課題遊びを行い個別集団活動を組み入れている。またその項目での評価を行い計画に組み入れている。	25	1		3		一日のスケジュールやパンフでの説明やモニタリング等において意識づけを行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4				活動プログラム等に短期目標及び評価を利用ごとにミーティングを行い認識や意識を持ち支援の実施を行っている。						引き続き行う。
	5	4			報連相を行いながら共通理解の上立案を行っている。						クラブや課題遊びを計画して行っている。また、特化プログラムや必要に応じて就労体験や訓練を行う。
	6	4			報連相を行いながら共通理解の上立案を行っている。						クラブや課題遊びを計画して行っている。また、特化プログラムや必要に応じて就労体験や訓練を行う。
	7	3	1		報連相を行いながら共通理解の上、支援を行う。また休日や長期においてはあらかじめスケジュールを立て支援内容を確認している。						引き続き行っていく。
	8	3	1		朝礼を行いその日の計画の確認を行っている。						朝礼にて支援内容や役割分担を確認している。
	9	3			支援終了後その日の気づいた点や振り返りを行い情報共有を図っている。						支援終了後気づいた点や振り返りを行い場合によりノートに記入し、情報の共有化を行う。
	10	2	1		記録においてはタブレットにて記録し最後に個別に確認を行っている。支援においては目標や評価を毎回行っている。						引き続き行う。
11	4			定期的なモニタリングを行い、計画の評価や見直しを職員間で行っている。今後も続けていく。						定期的に研修の日に評価や見直しの必要性を話し合い共通支援をお紺っている。	
関係機関との連携	1	4			事業所内において担当者が評価確認を行い朝礼等で明確化し自発管が担当者会議に参加している。						事業所内において担当者が評価確認を行い朝礼等で明確化し自発管が担当者会議に参加している。またその事を職員に共有するようにしている。
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	3											
	4	2	1		コロナが第5類に移行後、以前と同様支援会議やモニタリング等において情報の共有を行っている。						引き続き同様に情報提供を行っていく。	
	5	2	1		支援会議や移行会議において情報提供を可能な範囲で行う。						コロナが第5類に移行後、以前と同様支援会議やモニタリング等において情報の共有や支援の共通化を行っていく。	
	6	4			支援会議等での関係機関との連携を行っている。また、支援に差し支えない範囲で受講を行っている。						支援会議等での関係機関との連携を行っている。また、支援に差し支えない範囲で受講を行っている。資格のための受講においては要相談で行う。	
	7	1	1	1	児童館はコロナの関係で利用が減ったが、公園では地域の子どもたちと一緒に関わることが増えている。今後も交流の機会を増やしていきたい。						引き続き地域の児童館や公園などで交流を行っていくよう支援していく。	
	8	1		2	行事においては今年度招待は行っていない。(コロナ第5類移行であるが)来年度においては検討していく。						行事においては今年度招待は行っていない。(コロナ第5類移行であるが)来年度においては検討していく。	
	保護者への説明責任・連携支援	1	2		1	契約時や質問時や機関紙上に説明をその都度行っている。今後も行っていく。	29					契約時や質問時や機関紙上に説明をその都度行っている。今後も行っていく。また新人研修を引き続き行い理解度を深めていきたい。
		2	2	2		契約時や支援計画の都度支援について説明を行っている。	28					必要に応じて機関紙等で説明を行い、理解を促していく。
3		1	1	1	保護者会等で行うことができ定期的にも今後も継続していく予定。	17	3		8		定期的にペアレントトレーニングを行う機会を設ける。また懇談会等において必要に応じて機会を設けていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援(続き)	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	3	1		送迎時での会話や連絡ノートでのやり取り等での対応を行う。また、必要に応じて家庭連携を行い共通理解に気を付けている。	29					引き続き保護者との情報共有を大切にしていける。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	1	2		同上。また、事業所内連携や家庭連携を行い相談に応じている。保護者会や懇談会を行い相談に応じている。	25	3		1	今のところ不要で受けていません。	送迎時だけでなく今後も、保護者会や懇談会での相談会等を機関紙などで認識していただき、身近な相談場所として機能していきけるようアピールしていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	2		定期的に保護者会を行っており、今後も気軽に参加できるようにしていく。	22	2		3	保護者との交流ができる「お茶会」が楽しみです。	引き続き行っていけるが、機関紙等で紹介をしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	1	2		玄関に苦情ボックスを設けているが、保護者との状況に合わせて今後定期的に声掛けも行って行く。	19	1		6	そういうことがないため(苦情)	今後さらに苦情ボックス等のことを機関紙に掲載し認識や誰でもわかり、気軽に行ける雰囲気作りを行う。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	2	1		送迎時等に伝えたり、連絡ノートを活用している。	24	2				送迎時等に伝えたり、連絡ノートを活用している。また機関紙等で情報伝達を行う。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3			えーる便りや室内掲示(玄関)等でお知らせをしている。また行事予定表を配っている。	26			1		必要に応じて連絡ノートでの情報共有やお便り等を活用しており、今後も行う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	3			個人情報に関して入社時に宣誓書を記入また、研修時にも確認している。書類においてはシュレッダー等を必要に応じて使っている。	25			1		今後も同様に個人情報の取り扱いについて十分に気を付け確認をしていく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	2	1		目のつく玄関に配置しており、職員も周知している。必要に応じて保護者に説明を行っている。	20	3		3	プリントでお知らせをもらうのでわかりやすい。	引き続き周知して頂くよう機関紙等にも知らせをしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3			子どもに対しては月1回色々な場合を想定して避難訓練を行っている。また保護者引き渡し訓練も1年に1回行っている。今後も行う予定。	23	1		2	全ての面で大変感謝しています。	引き続き定期的に行い保護者の方にも意識を高めて行けるような工夫をしながら対策をとって行く。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4			職員研修を定期的に行っている。また、講師の方を呼び講演して頂いている。虐待委員会を組織して全体で取り組んでいる。						引き続き全体で取り組んでいる。また、虐待防止委員会を定期的に行い、職員においてはチェックシートにて振り返り等を行っている。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4			身体拘束に関する研修を定期的に行っている。また、保護者に説明の上支援計画の記載を行っている。また身体拘束止に向けた委員会を組織し、虐待委員会同様全体で取り組んでいる。						研修・委員会等で保護者にむけての周知や職員に対する意識向上を目指している。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4			医師の指示書が必要な児童は現在利用していない。						引き続きアレルギーに関してはアセスメント時に伺い職員間で共有を行う。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4			事業所内においてミーティング等で行い共有を行っている。事例集においては3事業所で情報の共有を行い話あうことがある。						研修の中でもできる限り共有し、対策を取っている。